

アメリカ ブックバッグ支援 2021

新学期に必要な学用品支援



勉強に必要な文具が入った
ブックバッグ (イメージ)

BOOK BAG

BOOK BAG



アメリカでは、高校卒業まで無料で教育を受けることができますが、貧しい家庭にとって学用品を準備することは経済的に大きな負担です。また、計画性が全くない親もいます。

新学期が始まって子どもたちに勉強する準備が何もなければ、授業についていくことができず、簡単に学校を中退する道を選んでしまいます。そうすると、すぐに子どもたちは悪い大人の餌食となってしまいます。

新学期に文房具でいっぱいの新しいバックがあれば、学校に行くことが楽しみになります。学校で勉強を続けることができると、将来はギャングとは違う、きちんとした職に就くこともできます。

ひとつのブックバックが、子どもの将来を変えます。ひとりの人の人生を変える事は、価値ある働きです。

ブックバッグ 1件:4,200円 申込締切り:7月7日(水)

対象は、**6歳(2015年生まれ)以上**のアメリカの子どもです。

アメリカの子どもをご支援の方は、子どもの年齢をご確認ください。

スポンサーでない方もお申込みいただけます。

ひとりでも多くの子どもに学習の希望を与えるため、ご支援をよろしくお願いいたします!



メトロ プレゼントを贈る

検索

アメリカ ブックバッグ!

お申込み締切りは7月7日(水)です。
詳細は、同封の申込書をご確認ください!

キャンプ献金募集!

アメリカ バーチャルキャンプに
ご支援をよろしくお願いいたします!



今月号の目次

- P2...大切なお知らせ
- P3...ビル師からのメッセージ
／スラムに生きるということ
- P4~5...スタッフたちからの声
- P6...日本事務所からのお知らせ

大切なお知らせ

再引き落とし及び手数料について

これまで様々な理由で口座からお引き落としができなかった方には、振込みでのお支払いをお願いしていましたが、多忙で金融機関に行けない方や、引き落としされていないことに気付かなかった方から、「引き落としができなかった月の分を、翌月に再引き落とししてほしい」というご要望を多くいただいております。

そこで日本事務所では、子どもたちを確実に支援するために、引き落としできなかった月のスポンサー代を、翌月に再引き落とさせていただくことに決定いたしました。引き落としには手数料や多くの手間がかかりますので、1回の再引き落としにつき、110円の手数料を追加させていただきます。

再引き落としが必要な方は、レポートに同封されている「今月の引き落とし金額のお知らせ」に「スポンサー代 ○月分」と記載されますので、引き落とし金額をご確認ください。

確実に引き落としできるように、お手数ですが引き落とし日前までにご登録の口座残高をご確認くださいようお願いいたします。6月の引き落とし日は、6月16日(水)です。

再引き落としについての詳細は、1月号のレポートをご確認いただくか、以下のホームページをご覧ください。

metroworldchild.jp/2021/information/4151/



スポンサー代金が3ヶ月支払われない場合は、子どもの命にかかわるケースもあるため、スポンサー契約を終了し、すぐに新しいスポンサーを探すことになっておりますのでご了承ください。



写真は2020年以前に撮影

スラムに生きるということ

今までも現地の状況について書いてきましたが、メトロが活動している地域のようなスラムは、日本には全く存在していないため、どれほど説明を聞いても、私たちの知っている範囲でしか理解できないのが現実だと思います。

それで今回から、いろいろな切り口で現地の状況を皆様にお伝えしていきたいと願い、このコーナーを作りました。皆さんと共に作り上げていきたいと思っておりますので、ご質問がございましたらどんどんメールやお手紙でお寄せください。現地のスタッフに問い合わせて、できる限りわかりやすくご説明したいと思います。

まず、アメリカのスラム街についてお話ししたいと思います。日本にも、貧しい方々の住む地域や公団のようなものがありますが、アメリカではその規模が違います。古い大きなビルの立ち並ぶ公園。整備された大きな公園の点在する、日本人ならうらやましく思えるこの場所が、スラムです。

職のない大人が昼間からうつろな目をして道端に座り込み、明らかによそ者の私たちを、じろじろと見つめています。現地の人から、「そんな所に行くんですか？ 行っちゃいけない場所。本当に行っているの？」と言われた言葉を実感しました。



「あなたも“その人”でしょうか」



ここニューヨークが新型コロナウイルスに襲われたのは、昨年、サマーキャンプの準備を進めている最中のことでした。スタッフはすぐに、少しでも本物のキャンプに近い体験ができるように代替手段を検討して「バーチャルキャンプ」という、パソコンを使う方法の開発に着手しました。しかし、このアイデアには反対意見もありました。「Zoomを使ったオンラインでのプログラムでは、子どもたちの集中力が続かないだろう」というのです。

皆さんご存じの通り、私のモットーは「子どもたちに福音を伝えるためなら、何でもやる」です。この50年の働きの中で私は、「子どもを教会学校に集中させることは無理だ」という声を繰り返し聞いてきました。…しかしその都度、否定派の考えが間違いであることを私たちは証明し続けています。

そして昨年あなたのような素晴らしいスポンサーと献金者のお陰で、世界が大きく様変わりし、子どもたちの環境も影響を受けていた中でも、ここニューヨークでは約500人の子どもたちがキャンプ参加の恩恵を受けることができました。

キャンプに参加した子どもには、キャンプ関連の楽しいグッズが詰まった「キャンプボックス」が届けられました。クレヨンでお面に色を塗ったり、キャンプ用のテキス



トで物語や聖書の学びを読んだり、キャンプリーダーと一緒にオンラインゲームを楽しんだり、少人数のグループに分かれて掘り下げたテーマで語り合ったり…

そしてキャンプのハイライトは、子どもたちを賛美と祈りに導き、聖書の真理を教えることです。子どもたちが目を閉じて、コンピューターの画面越しに私たちと共に神様を礼拝している姿を見たら、あなたもきっと涙したことでしょう。

心あるスポンサーと献金者の皆様、今年も子どもたちのキャンプのために惜しみないご支援をありがとうございます。とにかく私たちは全力を尽くしています。一人の子ども的人生を変える人となってくださるあなたに、感謝しています。

ビル・ウィルソン

バーチャルキャンプに変更となりました

先月号のレポートでは、今年のアメリカサマーキャンプはリアルキャンプとバーチャルキャンプの2つの方法で開催することをお知らせしました。

しかしその直後、アメリカのCDC（アメリカ疫病予防管理センター）がCOVID-19のガイドラインを更新しました。それを守りながら楽しくて安全なキャンプを実施することが難しくなり、急遽リアルキャンプは中止となりました。2021年も、バーチャルキャンプでキャンプを実施します！

日本事務所のホームページやFacebook、LINE、ご登録いただいているメールアドレス宛に変更のお知らせをお送りいたしましたが、十分にお知らせが行き届かなかったことをお詫びいたします。

8月に開催されるバーチャルキャンプの成功のために、ぜひお祈りください！

支援献金募集！

これから現地スタッフたちは、バーチャルキャンプ開催に向けて様々な準備を進めていきます。

バーチャルキャンプを楽しむための「メトロキャンプボックス」やキャンプ中の食料品ボックスを子どもたちに手渡しで届け、最高の時間をオンラインで過ごすためのセッティングなど、満たされるべき必要があります。

サマーキャンプへの献金は随時募集しております。子どもたちに福音が届けられるキャンプとなるようご支援をよろしく願います！



メトロのスタッフたちからの声

ヴェレナ ミューラー

私は故郷ドイツで素晴らしいクリスチヤンの家族に囲まれ、幼い頃から奉仕への思いを育みながら成長しました。経営学を学んだ後、メトロのインターン生としてニューヨークに来たのは2009年、20歳の時です。地域への支援活動を行うインターン生の経験を通じて私の人生は大きく変わりました。ですから、後にチャイルド・スポンサーシップ部門の責任者に任命されたときは大感激でした。他の仕事をする自分など考えられません。これこそ、私の望む人生です！

役職が変わった今でも、私はブルックリンに自分の担当エリアを持っており、一週間を通して子どもたちの家を訪問し、教会学校を開催しています。長年の活動を通じて私はこの地域の一員となることができましたし、今、子どもたちの成長に伴ってメトロが長期にわたって及ぼす影響を目の当たりにしています。中でも圧巻なのは、毎年のサマーキャンプです。キャンプは、子どもたちがのびのびと神様との距離を縮め、神様の愛と臨在と平安を体感する素晴らしい環境であることを、これまでキャンプに関わってきた立場から自信を持って言うことができます。このような活動ができるのも素晴らしいスポンサーやパートナーの皆さんのお陰です。ありがとうございます！



スージー ロドリゲ



年をとるにつれ、これまで神様のために行ってきたことができなくなってしまったら、私は神様のために何をしたらよいのでしょうかと、自分自身に問いかけていました。

私は、ニューヨークのメトロワールドチャイルドの幼稚科で15年以上働いていました。3年前、神の御国のために他に何ができるのだろうと思っていました。私が思いつくことは、幼い子どもたちのために奉仕することでした。他に何かできることはあるのでしょうか？ 私は、もっと神様に仕えたかったです。これで終わりではない、神様はもっと私を用いてくださることを知っていました。私にはまだ刈り取れる実があるのです。

ここ3年間で、自分にできると思っていなかったような多くの新しい役割が与えられ、学びながら身につけています。しかし神様は偉大なお方であり、真実で、御国の拡大のために私たちに必要な知識や新しいスキルをお与えくださいます。私たちがすべきことは、神様に明け渡すことです。主のお与えくださる仕事の中には、とてつもなく大きく、自分でも想像していなかったようなビジョンが与えられることがあります。

毎月、私は教会学校の方針の学びを世界中のメトロチームたちに指導する機会が与えられ、それにより彼らのチームでも同じ方針が受け継がれるのです。そのようにして、彼らが地域で活動し、教会学校が設けられていくのです。

インドやペルー、南アフリカ、ネパール、イギリス、コロンビア、フィリピンなど各地のメロスタッフたちがオンラインでのトレーニングに参加してくださることを大変ありがたく思っています。神様はこのスタッフをどんどん増やし続けてくださっています。

神様がおられるところには期限というもの存在せず、あなたたちが神の御国で用いられることに期限切れなんてないのです。

Run With One !

メトロ・ワールド・チャイルドのスタッフたちを支えるご支援を募集します！

■ スタッフひとり毎月 5,000 円以上

■ 単発支援献金もできます

同労者として、メトロのスタッフを励ます存在となってください。



お申込みページ

ハンナ ロビンズ



しかし先月の初め、彼女の方から連絡をくれ、会いたいと言ってくれたのです！ 神様の助けにより、私は彼女にイエス様のこと、そしてどんな人生をも変えることができる神の愛を伝えたいと祈っていました。私たちはその日、悔い改めの祈りをするにはできませんでしたが、彼女は別れ際に私に祈らせてくれました。そして聖霊様が明らかに彼女に触れてくださいました。どうぞ私と一緒に、ロゼラの救いのためにお祈りください。

私は、福音を語ること、キリストについて話すことが大好きです！ それはいつも簡単なことではありませんが、私たちが神様の召しに生きる時(それが食事の準備をすること、フライトアテンダントとして働くこと、専業主婦として、また清掃員として働くことであろう)神様に創造された通りに生きる時、私たちは本当に生きることができると信じています！ そして私にとってそれは、神の言葉を語ることです。

私がニューヨークの食糧庫で働き始めた頃、ある若い女性が、明らかに酔った状態で私に近づいてきました。ほんの数分の間彼女と話す、彼女が悲惨な経験をしてきたことが分かりました。他のスタッフと私は、必要な治療を受けられるように、彼女を一番近い病院へと連れて行きました。そして聖霊様の促しによって、別れる前に彼女の電話番号を聞きました。

私はその後、何度か彼女と連絡を取ろうと試みましたが、スケジュールの関係と彼女の電話番号が変わったようで連絡が取れず、次第に私はもう連絡は取れないだろうと思い始めていました。

この春、ニューヨークで道端教会学校を再開することができました！



もちろん徹底した感染症対策の元、ステージ以外ではマスクをつけ、何か配る時には手袋をつけ、ソーシャルディスタンスを守りながらですが、遂に私たちの場所に戻ることができました！

レベッカ ベットナー

先週自分の担当地域を訪問していたときに、1人の母親が、今ニューヨークの路上では、夜、何が起きているのかを話してくれました。

コロナウイルスのパンデミックが起こった後、ギャング間の争いが激増し、そして今、気温が上がるにつれて彼らはまた外に出てくるようになりました。「レベッカ、10代の子でさえ撃ち合っているのよ！」

彼女はさらに、10代の若者が銃を撃っている恐ろしい状況と、誰もその子どもたちに関わろうとしないので、怖いと言っていました。この母親は、自分の子どもたちの目に触れないように、家の周りに転がっている薬きょうを集めて捨てていました。彼女は子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、あらゆる策を講じて子どもたちを守ろうとしています。

この夫婦はその地域で働いているため、引越すことは不可能です。私たちは、彼女と一緒に神様の守りを求めて祈りました。そしてその後、彼女は言うことができました。「あなたはこの地域にたくさんの平和をもたらしてくれています！ ここにいてくれてありがとうございます！」と。

私たちが「ここにいる」ということがいかに重要であるかを忘れてしまいがちです。今、私がこの家族の状況について何ができるというわけではありませんが、それができる御方を私は知っています！ それはイエス様です。そして確かにイエス様が、どんな状況でも変えることができになることを知っています。



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

！ 子どもと皆様を守るために

ネットの普及により、個人情報の保護は想像以上に難しくなっています。子どもに手紙を送る際は、ご自分の苗字と住んでいる地域名を、記入しないようお願いします。

- (例) × Hi ! I'm Taro Yamada. I'm live in Tokyo.
× こんにちは。山田太郎です。東京に住んでいます。
○ Hi ! I'm Taro. I'm live in Japan.
○ こんにちは。太郎です。日本に住んでいます。

必要以上の情報は悪用されたり、ネットで探し出されたりします。皆様の安全のために、友だち申請などメトロを通さない連絡には返事をしないでください。メトロでは、長年にわたる様々な経験により、子どもとスポンサーの方々双方にとって最善の対応を心がけています。

メトロをフォローしよう！

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパンでは、SNS でレポート記事を読むことができます！
ぜひ、フォローしてください！



LINE



Facebook



Instagram



You Tube

！ メールアドレスのご登録を！

メトロへのメールアドレスのご登録はお済でしょうか？ スポンサーご登録時のメールアドレスからアドレス変更をした方は、メトロにメールをお送りください。

ご登録方法

「メール登録【お名前】」という件名で、登録ご希望のアドレスから以下のメールアドレス宛に空メールを送信してください。

metrojapan@mission.or.jp



あわせて、メトロからのメールが受信できるように受信許可設定をよろしくをお願いします。

必ず返信いたしますので、返事が来ない場合は、迷惑メールフォルダをご確認ください。

日本事務所よりごあいさつ！

記録的な早い梅雨入りで、晴れ間の待ち遠しい日々が続いていますが、雨が降る日には、神様からの恵みの雨ととらえ、私たちのすべてをご存知の神様が共におられることを覚えて感謝をささげたいと思います。

NYのスタッフは、ワクチン接種を終え、ようやく日常の働きに戻ろうとしています。しかし、この1年以上にわたる地域からの分断、子どもに直接会うことが困難だった日々の影響は大きく、スタッフは一日も早く回復させようと、より一層力を入れています。

フィリピンやケニアのスタッフの状況は、急には変わりようもありませんが、この時だからこそその存在感を発揮して活動を続けていることを誇りに思っています。

働きを支えてくださる皆様に心から感謝し、豊かな祝福と恵みをお祈りしています。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんだい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1
教文館 6階 TFC内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL https://metroworldchild.jp/



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン